

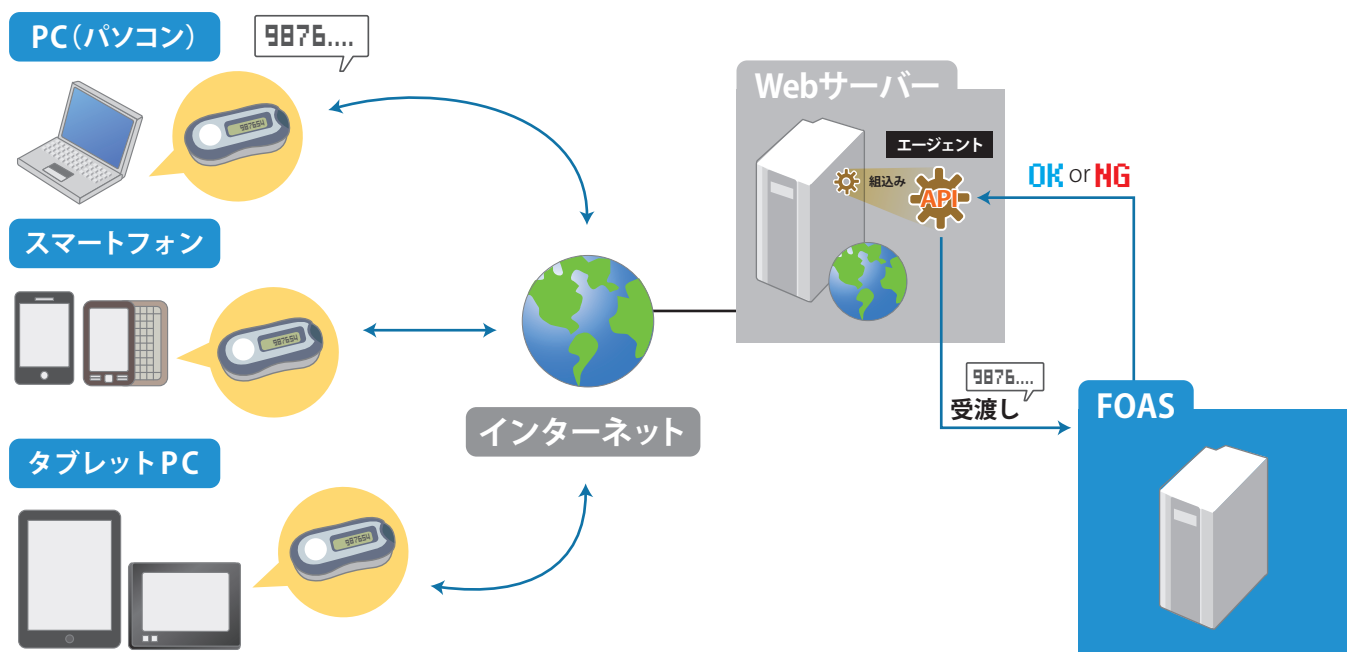
FOAS (飛天OTP認証システム)

FOASは、
クラウド時代に必要とされる強固な二要素認証システムです。
ワンタイムパスワードトークンを使用し
認証のセキュリティレベルを高めます。

- PC、タブレットPC、スマートフォンなど様々な情報端末の認証を強化
- 自社のWebサービスの認証強化
- 高セキュリティを低コストで導入実現
- 既存システムにワンタイムパスワード認証を容易に付加
- Windowsローカルドメイン、リモートデスクトップのログオン制御
- FOASサーバ後段の企業データベースと連携した認証制御

主な利用例

- ・ PC、タブレットPC、スマートフォンなど端末形式に制限されず認証を強化
- ・ Citrix などのリモートデスクトップのログイン強化
- ・ IIS などの Web システムへの認証強化
- ・ Windows ログオン強化
- ・ VPN 認証の強化



1. 利用者は表示されたワンタイムパスワードを入力 ▶ 2. WebサーバーとFOASが通信 ▶ 3. 認証OK / NGを返す

製品特徴

- 容易に強固な二要素認証を追加できます。
- 様々なシステムと相互連携できます。
- 情報端末の形式を選ばず利用することが可能です。
- 導入コストが他社に比べ低いです。
- 国際規格であるOATH準拠の他社認証サーバーからの乗り換えが容易に実現可能です。
- APIを利用してお客様独自の組込も可能です。

FOASを構成する要素



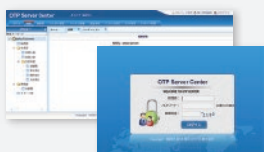
OTP認証サーバー

OTP認証サーバーはワンタイムパスワードを認証するために使用するサーバーです。OATHに準拠しています。OTP認証サーバーは認証エージェントからの認証要求を受信し、要求を確認し、認証結果を返します。



エージェント

エージェントはOTP認証サーバーとアプリケーションサーバー間のデータを受け渡す機能を持ちます。エージェントはアプリケーションサーバーから認証要求をOTP認証サーバーに送信します。また、エンドユーザーのログインを許可するかを決定するためにOTP認証サーバーから結果を受け取ります。



OTP管理センター

OTP管理センターは、FOASの管理コンソールです。OTP管理センターはユーザーの管理やOTPトークンの管理、OTP認証サーバーの設定、エージェント設定、ログ情報管理をおこなう機能を提供します。

システム要件

FOAS OTP認証サーバーの推奨スペック

	スペック
CPU	Intel PentiumⅢ 800MHz以上
メモリ	1GB以上
ハードディスク	8GB
OS (※1)	Windows (32/64bit)、RedHat Linux (32bit)
DB	SQL Server、PostgreSQL、MySQL、Oracle等

(※1) 対応OSのバージョンについては、お問い合わせ下さい。

FOAS エージェントの対応範囲

	FOAS エージェント の対応範囲
Linux (AS4) (32bit)	IIS Webサイトへの保護、PAMを利用したOSログイン
Windows (32bit)	IIS (Internet Information Server) Webサイトの保護、Windowsログイン、ドメインログイン、リモートデスクトップログインの保護、Citrix XenApp (Presentation Server) 認証の保護、OWA (Outlook Web Access) 2003/2007 認証の保護



OneTimePassword (OTP) ワンタイムパスワードトークン

飛天ワンタイムパスワードトークン (c100, c200等) を使用することが可能です。その他、OATHに準拠しているトークンも使用可能です。



「OATH (Initiative for Open AuTHentication)」

OATHは認証に関連する業界をまたいだコラボレーションを推進する組織として米旧VeriSign社の呼び掛けにより設立されました。行動理念として新たな標準規格を作成し推進するのではなく、既存のオープンスタンダードをベースに強固な認証技術フレームワークの確立とその一般普及を目的としています。